

知的障害特別支援学校小学部の生活単元学習における 「各教科等を合わせた指導」の観点

— 単元構想シートによる実践前後の学習指導案および児童個別評価の分析から —

滝吉美知香*・佐々木 全**・細川絵里加***・中村くみ子***

*岩手大学教育学部, **岩手大学大学院教育学研究科, ***岩手大学教育学部附属特別支援学校

(令和3年3月4日受理)

1. 問題と目的

知的障害のある児童生徒を対象とする特別支援学校では、「各教科等を合わせた指導」として、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習が実施されている。この指導の形態は、学校教育法施行規則第130条第2項「特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の障害の種類を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる」との規定に基づく。2017年公示の特別支援学校幼稚部教育要領及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、ならびに2019年公示の特別支援学校高等部学習指導要領（以下、学習指導要領とする）には、各教科等の内容の一部又は全部を合わせて指導を行う場合、各教科等の内容を基に、児童生徒の知的障害の状態や経験に応じた具体的な指導内容の設定を行うことや、適切な授業時数を定めること等が規定されている。また、各教科等において育成を目指す資質・能力を明らかにし、各教科等の内容間の関連を十分に図る配慮の必要性についても明記されている。

このような記述について、名古屋(2018)は、それだけ不注意に安易に実践されている各教科等を合わせた指導が少なくないことを示唆するものと指摘する。各教科等を合わせた指導については、時に教科別指導と対立的に位置付けた議論が行われること(小出, 2014)もあり、教科別指導を重視する立場からは「活動あって学びなし」と批判を受けることもある(名古屋, 2016)。その背景には、各

教科等を合わせた指導を行う授業づくりの難しさや曖昧さがあることが指摘される。

田淵・佐々木・東(2019)は、各教科等を合わせた指導の充実を志向し実践する知的障害特別支援学校教員10名を対象に、その意識の様相を明らかにするためインタビュー調査を実施した。その結果、授業者が自らの志向に確信を持たずに内的な葛藤を持続させる状態にあり、その葛藤は、授業づくりに関する要領の不明瞭さや未確立さという技術的側面と、各教科等を合わせた指導と教科別指導の調和的理解の不調という理念的側面における問題点に起因することを明らかにした。

これらの問題点に対する対応策のひとつとして開発されたのが「単元構想シート」(田淵・佐々木・東・阿部・田口ほか, 2020)である。単元構想シートとは、各単元・学級ごとに、児童生徒一人一人に合わせた各教科等の目標・内容を選択式で記入することによって、単元全体計画の構想を可能にしたExcelシート(資料1)である。この単元構想シートを用いることにより、単元における個別の指導計画において、各教科等の内容と関連した目標の設定と評価が可能となる(資料2)。

実際にこの単元構想シートを用いた授業づくりの実践として、田淵・佐々木・東(2021)は、岩手大学教育学部附属特別支援学校小学部ならびに公立特別支援学校小学部での生活単元学習における取り組みを報告した。取り組み後の教員10名を対象としたアンケートおよびインタビューによる意識調査の結果から、教員がこの取り組みに対し、各教科における育成を目指す資質・能力を含んだ目標や評価の記述が可能になるという点で有効性を認

識していることを明らかにした。一方で、この単元構想シートを日々の授業実践に用いることについては、教員の負担感を軽減する必要性が指摘された。

これらの有効性や課題は、実際に単元構想シートを利用した教員の感覚や使用感に基づくものである。そのような有効性や課題が教員側に認識されやすい単元構想シートを用いた実践は、各教科等を合わせた指導という観点において、教員の実際の授業づくりや評価にどのような影響を与えたのか。本研究では、単元構想シートを用いた生活単元学習における取り組みの前後で、教員が作成した学習指導案ならびに児童個別評価の文書を対象として、その記載内容の変化を検討する。具体的には、教員が単元構想シートを用いた授業づくりを経験する前よりも後のほうが、指導案や個別評価により多くの各教科等の視点が含まれると仮説立て、その検証を行う。

2. 方法

岩手大学教育学部附属特別支援学校小学部では、2019年度に単元構想シートを用いた生活単元学習の実践に取り組んだ(田淵ほか, 2020)。そこで、実践前として2018年度、実践後として2020年度それぞれに作成された学習指導案および児童個別評価の文書を分析の対象とした。以下の分析にはテキストマイニング(樋口, 2020)の手法を用いた。

Table 2 児童個別評価を実施した教員・対象児童の状態・単元等の一覧

学年	2018年度			2020年度		
	教員	対象児童の状態 (IQ・MA・SQ等)	単元名	教員	対象児童の状態 (IQ・MA・SQ等)	単元名
1	H	ID (IQ31, MA2:4)	たんぼぼランドで遊ぶ う①	J	ソトス症候群 (IQ54)	たんぼぼひろばであそぼ う!
2	J	ダウン症候群 (IQ31, MA2:9)	たんぼぼランドで遊ぶ う②	A	ASD (SQ33, SA2:2)	みて!さわって!ペタペタ あそび
3	A	ID (IQ29, MA2:9)	わくわくオリンピック をがんばろう	B	ID (IQ42, MA3:6)	ゲームをしよう
4	B	ASD (IQ26, MA2:5)	みんなででかけよう		ASD (SQ22, SA1:7)	すみれのおまつりをしよう
5	F	ASD (IQ35, MA4:1)	わくわくオリンピック をがんばろう	H	ASD (SQ42, SA4:2)	つくし畑をつくろう
6		ASD (IQ21, MA1:1)	校外学習に行こう	F	ASD (IQ26, MA2:5)	ピザを作って食べよう

ID: Intellectual Disability (精神発達遅滞, 全般的発達遅延等の診断名はすべてIDと表記)

ASD: Autism Spectrum Disorder (自閉症, 広汎性発達障害, 自閉症スペクトラム等の診断名はすべてASDと表記)

1) 学習指導案 小学部2学級(それぞれ複式)において、各年度の同時期に作成された生活単元学習の学習指導案を分析対象とした。各学級における各年度の学習内容や作成者等について Table 1 に示す。なお、それぞれの指導案の作成は3名の教員が協力して行った。年度をまたぐ教員の異動や担当の変更等により、両年度で作成者は異なっていたが、2020年度の作成者には必ず単元構想シート実践経験者が2名以上含まれていた。

Table 1 各年度の生活単元学習内容および指導案作成者

対象学級 (人数)	2018年度	2020年度
3・4年 (6名)	「ポットをつくろう」 教員A・B・C	「おまつりをしよう」 教員D・B・C
5・6年 (6名)	「おそば屋さんを開 こう」教員E・F・G	「ピザを作って食べ よう」教員F・H・I

2) 児童個別評価 当該年度における小学部各学年1名の児童について作成された生活単元学習2単元分の個別評価文書を分析対象にした。各年度において個別評価を実施した教員、評価の対象となった児童の状態、単元等について、Table2に示す。

3. 結果

1) 学習指導案 分析対象とした全ての学習指導案に記載された文章内容の総抽出語数は15,599語であった。そのうち助詞や助動詞等を除外し、最終

Table 3 教科コーディングルール

	学習指導案	児童個別評価
国語	感想, 伝える, 書く, 読み上げ, 声, 話す, 質問, 問い掛け, ほか (全 14)	答える, 声, 話す, 伝える, 書く, 聞く, 言葉, 尋ねる (全 8)
生活科	一緒, 共有, 挨拶, 協力, 応援, 分担, 安全, 時間, 片付ける, 友達, 係, 遊び, 役割, やり取り, ほか (全 30)	お金, タイマー, 転がす, 遊び, 一緒, バス, 友達, ほか (全 17)
算数	個数, ペア, 計量, 数字, 順番, お茶, 選ぶ, 計る, 数える, 量る, 大きい, 型, 色, 量, カップ, ほか (全 34)	色, コップ, お茶, 順番, 選ぶ, 高い, 集める, 選択, ペア (全 9)

Table 4 各教科の視点を含む文書の比較 (学習指導案)

	国語	生活科	算数	ケース数
2018年度	45 (15.46%)	108 (37.11%)	66 (22.68%)	291
2020年度	52 (15.29%)	114 (33.53%)	94 (27.65%)	340

Table 5 各教科の視点を含む文書の比較 (児童個別評価)

	国語	生活科	算数	ケース数
2018年度	29 (36.71%)	39 (49.37%)	17 (21.52%)	79
2020年度	14 (23.73%)	26 (44.07%)	16 (27.12%)	59

的に分析対象となった語句は 6,738 語 (919 種類), 631 文であった。各教科等の視点となる語句について, 教員 3 名が学習指導要領を参照しながら協議を行い, 国語・生活科・算数の 3 教科についてコーディングルールを設定した (Table 3)。各コードが与えられた文書を集計し, χ^2 検定を実施した結果 (Table 4), 年度や各教科の視点の違いによる有意差は示されなかった ($\chi^2(2)=2.07, n. s.$)。

2) 児童個別評価 分析対象とした全ての児童個別評価について, 記載された文章内容の総抽出語数は 4,360 語であった。そのうち助詞や助動詞等を除外し, 最終的に分析対象となった語句は 1,850 語 (621 種類), 138 文であった。学習指導案同様, 各教科等の視点となる語句について, 教員 3 名が学習指導要領を参照しながら協議を行い, 国語・生活科・算数の 3 教科についてコーディングルールを設定した (Table 3)。各コードが与えられた文書の数を算出し, χ^2 検定を実施した結果 (Table 5), 有意差は示されなかった ($\chi^2(2)=1.98, n. s.$)。

4. 考察

本研究では, 単元構想シートを用いた実践によって, 学習指導案や児童個別評価により多くの各教科等の視点が反映されるようになることを仮説としていた。実践前後の年度において作成された指導案および個別評価の文書を分析対象として, テキストマイニング法を用いた比較を行った。その結果, どちらの文書においても, 年度や各教科等の視点による文書数の差は示されなかったことから, 仮説は支持されなかった。

この結果は, 単元構想シートの実施によって指導案や個別評価に各教科等の視点が新たに加えられるのではなく, もともと指導案や個別評価には各教科の視点が含まれていることを意味すると考える。異なる状態像の児童を対象とした, 異なる授業内容であったにもかかわらず, 指導案や個別評価の文書に含まれる各教科等の視点の内容や割合は同程度で安定していた。このことから, 指導案や個別評価を行う教員の思考には, すでに教科の視点が内在化されていることがうかがわれる。単元構想シートの実施は, 教員が従来どおりに考案し作成した支援方法や授業展開が, 各教科等の視点からみても有意義であることを確認するプロセスであるといえる。教員がそのような確認のプロセスを体験したことによって, 従来の内容を教科別の観点から意義付ける内的思考が強化され, 実践後は確信的にこれまでの内容および質どおりの記述を行っていることが推察される。

名古屋 (2018) は, 知的障害教育において授業実践や児童生徒の評価を行う際, 「観点が一人歩きしないこと」の重要性を指摘している。ある観点から

の評価は、あくまで教育の目的に沿って行われるべきであり、評価のための評価であってはならない。つまり、各教科等の視点をより多く含んだ指導案や個別評価を作成しようとするあまり、本来重視すべき児童生徒の実態を見失ってはいけないということである。今回の検討結果からは、実施した教員がそのような危険性を認識し回避できていたために、単元構想シート実施前後を比較しても同程度の割合で各教科別の観点を含みつつ指導の計画や児童の評価が行われていたと考えられる。この背景には、複数名によるチームティーチングであることや、学校全体で単元構想シートの内容や位置づけを随時確認・共有できる体制が整えられていたことがあるであろう。

以上より、単元構想シートは、教員が作成する学習指導案や児童個別評価に、各教科等の視点が含有されていることを確認するプロセスとして位置づけられ、その位置づけを学校体制の中で保障することによって、各教科等を合わせた指導の観点をふまえた生活単元学習の授業づくりが確立されるといえるだろう。

謝辞

本研究にかかわりご理解ならびにご協力をいただきました全ての方々に感謝申し上げます。また、データ分析に関しては、岩手大学大学院教育学研究科(教職大学院)鈴木久米男先生にご助言をいただきました。

文献

- 樋口耕一(2020) 社会調査のための計量テキスト
分析第2版：内容分析の継承と発展を目指して
ナカニシヤ出版
- 小出 進(2014) 知的障害教育の本質：本人主体
を考える ジアース出版
- 名古屋恒彦(2016) わかる！できる！「各教科等
を合わせた指導」 教育出版
- 名古屋恒彦(2018) アップデート！各教科等を合
わせた指導：豊かな生活が切り拓く新しい知的
障害教育の授業づくり 東洋館出版

田淵 健・佐々木 全・東 信之(2021)「各教科等を合わせた指導」における育成を目指す資質・能力を踏まえた授業づくり：小学部の生活単元学習における「単元構想シート」を取り入れた授業づくりの要領の検証 岩手大学大学院教育学研究科研究年報, 5, 241-248.

田淵 健・佐々木 全・東 信之(2019)「各教科等を合わせた指導」を志向する知的障害特別支援学校教員の授業づくりに関する意識 生活中心教育研究, 34, 65-74.

田淵 健・佐々木 全・東 信之・阿部大樹・田口ひろみ・中村くみ子・岩崎正紀・藤谷憲司・上濱龍也・最上一郎・名古屋恒彦(2020) 育成を目指す資質・能力を踏まえた「各教科等を合わせた指導」の授業づくりの要領の開発：特別支援学校の小学部におけるアクション・リサーチから 岩手大学教育学部プロジェクト推進支援事業教育実践研究論文集, 7, 237-244.

資料1 単元構想シートの使用例

【指導の形態】	生活単元学習		【単元名】	作ってプレゼントしよう～スミレファームのバスボムづくり～		【対象】	小学部 2組 3年生 6名		【担当】	Y教員、X教員、W教員		
単元の目標	1 活動内容や目的が分かり、見通しをもち進んでバスボム作りやプレゼント準備に取り組む。				2 自分の役割が分かり、仲間と一緒に活動する。							
	【知識・技能】 バスボムの作り方が分かり、手順通りに混ぜたり固めたりすることができる。				【思考・判断・表現力等】 色や形を選んだり、力加減を自分なりに調整して作ることができる。				【学びに向かう力・人間性等】 自分から進んでバスボム作りに取り組む。プレゼントすることを楽しんだり、やりがいを感じたりする。			
期間・時数	9月17日～9月25日(8時間)			9月26日～10月4日(6時間)			10月7日～10月8日(2時間)			月 日～月 日(時間)		
小単元名(活動名)	オリエンテーション、作ってみよう、使ってみよう!			プレゼント用のバスボムを作ろう!			振り返り					
児童生徒名	主な学習活動		各教科等の内容		主な学習活動		各教科等の内容		主な学習活動		各教科等の内容	
(3年Aさん)	スライドを見る 写真やイラストを選ぶ 材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ		生活 10 国語 10 算数 音楽 園工 14 体育 自活 9 10 17 22 道徳 33 特活 外国		材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ プレゼントする ラッピングとその装飾 メッセージカードの作成(写真やイラストを貼る、名前のシールをマッチングする)		生活 10 42 国語 10 42 算数 音楽 1 14 園工 1 14 体育 自活 6 10 22 道徳 29 33 特活 外国		動画を見る 写真を見る 思い出カードを作る 名前のシールのマッチング		生活 10 42 国語 10 42 算数 音楽 14 園工 14 体育 自活 6 9 10 道徳 特活 外国	
(3年Bさん)	スライドを見る 写真やイラストを選ぶ 材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ		生活 80 国語 43 算数 音楽 園工 14 19 体育 自活 9 23 道徳 特活 外国		材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ プレゼントする ラッピングとその装飾 メッセージカードの作成(写真やイラストを貼る、名前のなぞり書き)		生活 36 50 国語 41 43 算数 音楽 14 園工 14 体育 自活 9 23 道徳 29 特活 外国		動画を見る 写真を見る 思い出カードを作る 名前のなぞりがき		生活 41 43 55 国語 41 43 55 算数 音楽 園工 園工 14 体育 自活 9 23 道徳 特活 外国	
(3年Cさん)	スライドを見る 写真やイラストを選ぶ 材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ		生活 80 国語 42 算数 音楽 園工 14 19 体育 自活 9 10 26 道徳 特活 外国		材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ プレゼントする ラッピングとその装飾 メッセージカードの作成(写真やイラストを貼る、名前のシールをマッチングする)		生活 35 38 国語 41 43 算数 音楽 14 園工 14 体育 自活 10 23 26 道徳 16 特活 外国		動画を見る 写真を見る 思い出カードを作る 名前のシールのマッチング		生活 41 43 国語 41 43 算数 音楽 園工 園工 14 体育 自活 9 10 23 道徳 特活 外国	
(3年Dさん)	スライドを見る 写真やイラストを選ぶ 材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ		生活 80 国語 42 算数 音楽 園工 1 14 19 体育 自活 9 10 道徳 特活 外国		材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ プレゼントする ラッピングとその装飾 メッセージカードの作成(写真やイラストを貼る、名前の視写)		生活 56 42 47 国語 56 42 47 算数 音楽 1 14 25 園工 1 14 25 体育 自活 9 10 道徳 29 特活 外国		動画を見る 写真を見る 思い出カードを作る 名前の視写		生活 11 41 44 国語 11 41 44 算数 音楽 園工 14 園工 14 体育 自活 9 10 道徳 特活 外国	
(3年Eさん)	スライドを見る 写真やイラストを選ぶ 材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ		生活 14 国語 14 算数 音楽 園工 1 7 19 体育 自活 9 12 道徳 16 44 特活 外国		材料を混ぜる 型に入れて押し固める 色を選ぶ トッピングを選ぶ プレゼントする ラッピングとその装飾 メッセージカードの作成(写真やイラストを貼る、名前の視写)		生活 14 国語 14 算数 音楽 4 8 10 15 26 園工 4 8 10 15 26 体育 自活 9 12 道徳 16 29 44 特活 外国		動画を見る 写真を見る 思い出カードを作る 名前の視写		生活 7 10 54 国語 7 10 54 算数 音楽 園工 14 園工 14 体育 自活 23 道徳 特活 外国	

